

2022年9月15日

日立チャネルソリューションズ株式会社

**メッツ社の ME 機器管理システムにタッチレスソリューションが導入され、  
触れない操作により、安全で効率的な医療機器・備品管理業務を支援**  
外付で搭載可能で導入しやすく、稼働 200 台超の実績・信頼性が評価される



触れない操作により、安全で効率的な医療機器・備品管理業務を支援する

ME 機器管理システム「Me-Arc-UCD-」

日立チャネルソリューションズ株式会社(代表取締役 取締役社長：八木 鉄也／以下、日立チャネルソリューションズ)は医療関連機器の開発・製造・販売などを行う株式会社メッツ(代表取締役：福田 充宏／以下、メッツ社)の ME 機器管理システム「Me-Arc-UCD-」に、当社の「空中入力装置」を活用したタッチレスソリューションが導入されたことを発表します。高度な感染対策や厳しい衛生管理が求められる医療機関での医療機器や備品の貸出・返却などの管理業務において、管理端末に触れることなくクリーンな操作を支援します。

今回の導入にあたって、当社の「空中入力装置」は 200 台を超える稼働実績とその高い信頼性に加え、ATM などでのユーザーインターフェース技術で培ったわかりやすい操作性、既存システムに容易に接続しタッチレス機能を追加できるなどの導入しやすさが評価され、採用に至りました。

## ■背景

医療現場では医療法施行規則にも定められているように医療機器運用管理の実施を義務付けられています。これに伴い、医療機関での検査や手術に使われる電子機器(ME 機器)や備品の使用状況やデータ入力などの運用状況が管理できる、ME 機器管理システムの導入が広がっています。一方で、医療機関では日常的に厳しい衛生管理が必要であり、ME 機器管理システム端末の使用に際しアルコール消毒を行ったり、タッチパ

ネル操作時に手袋を着脱したりするなど、手間がかかっており、感染対策を行いながら、業務効率を向上させることが課題になっていました。

### ■タッチレスソリューションを導入した ME 機器管理システム「Me-Arc-UCD-」について

今回、メッツ社の ME 機器管理システムに、日立チャネルソリューションズの空中入力装置を活用した空中映像によるタッチレス操作を実現したソリューションを導入することで、従来はタッチパネルなど端末の操作により行っていた医療機器や備品の貸出・返却の登録作業を、端末に触れることなく実施可能になりました。非接触操作のためアルコール除菌やゴム手袋の着脱が不要となり、接触による感染リスクの低減、作業効率向上に貢献します。さらに、医療機器管理をするため操作ミスが許されず正確な操作が求められる ME 機器管理システムにおいて、シンプルな画面構成と「めくる」「押す」といった簡単な操作性で正確な操作を支援します。



ME 機器管理システム「Me-Arc-UCD-」のシステム構成

### ■タッチレスソリューションについて

日立チャネルソリューションズは、2020 年 5 月に新型コロナウイルス感染症拡大の状況下で、モノに触れない、触れたくないというニーズを受けて、業界で先駆けて空中入力装置の提供を開始し、不特定多数の方が幅広く利用する ATM や精算機などの正確性や高い操作性が求められるセルフサービス機器に導入しました。これまでに、200 台以上が稼働しており、金融機関やクリニックなどにおいて安心、安全を提供し、お客さまから高い信頼を得ています。

多くの方が利用する ATM で培った使いやすさを追求したユーザーインターフェースなどを活かし、空中映像を使ったタッチレスにおいても見やすく分かりやすい操作を実現しています。また、空中入力装置は、端末システムベンダーの既存システムに外付けで搭載可能であり、汎用インターフェースである USB で接続でき、表示する画面やボタン操作内容は、当社が提供する画面作成ユーティリティを利用することで、空中表示と操作に適したデザインに設計することが容易で、導入しやすくなっています。

今後も現場のニーズを取り入れながら利用者の声に寄り添った製品開発を展開するなど、安心安全な生活環境サポートに取り組んでいきます。

## ■株式会社メッツ 代表取締役 福田 充宏 コメント

近年の医療提供体制においては、院内の医療機器を管理する仕組みが必要不可欠となっています。メッツでは、大規模病院において数千台に及ぶ医療機器運用管理のための仕組みを開発し、各施設のご要望に沿ったシステムを提案してまいりました。当該システムにおいては、機器の使用履歴を記録するために、どの機器をどの部署に持ち出すかを借り受ける部署の担当者がタッチパネル端末を用いて日々システムへの入力を行います。一方、昨今猛威を振っているコロナウイルスのような感染症の拡大防止には、感染経路の遮断が非常に重要な戦略です。不特定多数の人間が振れるタッチパネルモニタは、まさに感染経路となり得る部分であり、そこを遮断する必要があると考えていた矢先に、日立チャネルソリューションズよりタッチレスモニタのお話がありました。

院内において手指衛生の徹底がなされているとはいえ、100%を達成することは困難であり、残りのわずかな数%にどう対応するかが現在の課題です。この点において、システムへの入力作業をタッチレスにすることによって感染経路を遮断することは、院内における $+ \alpha$ の感染対策に大変有用であり、さまざまなシステムにおいて導入が進んでいくものと考えています。

今後も、日立チャネルソリューションズとともに、機能的なデバイスを通じたソリューションの創造を通じて、病院運営のお手伝いをめざしていきます。

## ■タッチレスソリューションの特長

### 1. 清潔

- ・非接触での操作を実現することで接触感染リスクの抑制ができます。
- ・手袋などを付けたままでも操作が可能のため、ボタンの清掃や操作の度に手袋の着脱の手間がなくなります。

### 2. 簡単操作

- ・くっきり見やすい空中像で操作を誘導し、はじめて使用される方でも簡単に操作できます。
- ・日本カーバイド工業株式会社製の高性能な空中ディスプレイ用リフレクターを採用しています。

### 3. 端末との高い親和性

- ・汎用インターフェースで各種の上位装置(ATM、POS、精算機など)と容易に接続が可能です。
- ・既存機器のユーザーインターフェースと併用も可能なため、触れる操作を継続したい方のニーズにも応えることができます。



#### 4. 画面デザインはカスタマイズが可能

- ・端末システムベンダーで簡単にボタンや画面デザインなどをカスタマイズでき、画面作成ユーティリティーに従うことで容易にタッチレス操作に適したユーザーインターフェースの設計が可能。



#### ■タッチレスソリューションに関するウェブサイト

<https://www.hitachi-ch.co.jp/products/touchless/001/index.html>

#### ■日立チャネルソリューションズについて

日立チャネルソリューションズは、ATMをはじめ金融オートメーションのパイオニアとして、100を超える国と地域で製品・サービスを提供し、金融機関などにおける効率化やサービス向上に取り組んできました。金融、流通、公共・交通分野に加え、メカトロ技術を活用した自動化・ロボットソリューションで、建設、警備業界、ヘルスケアなどの新規分野に事業を展開しています。日立グループとのさらなる連携強化により、LumadaのAIやアナリティクスなどのデジタル技術・ノウハウを活用し、複雑でより高度なお客さま課題への対応、新たな価値創出支援を図っていきます。

詳しくは、日立チャネルソリューションズのウェブサイト(<https://www.hitachi-ch.co.jp/>)をご覧ください。

#### ■お問い合わせ先

日立チャネルソリューションズ株式会社

チャネルビジネス推進センタ 事業企画部 [担当：飯田]

〒488-8501 愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地

TEL：0561-53-6132

問い合わせサイト：[https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hitachi-ch/products/jp/form.jsp?UM\\_Qno=7](https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/hitachi-ch/products/jp/form.jsp?UM_Qno=7)

#### ■報道機関お問い合わせ先

日立チャネルソリューションズ株式会社

経営企画室 経営企画部 [担当：二木、白石]

〒141-8576 東京都品川区大崎一丁目6番3号 大崎ニューシティ3号館

TEL：03-5719-6009

以上

-----  
このニュースリリース記載の情報（製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等）は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。  
-----